

様式第2号（第7条関係）

会 議 録

会 議 の 名 称		令和2年度第1回川島町男女共同参画推進委員会
開 催 日 時		令和2年8月19日（水） 午後1時30分から3時30分まで
開 催 場 所		川島町役場 大会議室
議 題		(1) 川島町男女共同参画推進計画について (2) 男女共同参画に関する住民意識・実態調査について (3) その他
公開・非公開の別		公開
非公開の理由 (非公開の場合のみ)		
出席者	委 員	1号委員 五十嵐美希、小高絵都子、猪鼻彩子 2号委員 早坂良子、遠山いづみ 3号委員 伊藤千夏、榎本早苗 4号委員 大野清子、関根由希江、加藤法子
	事務局職員	総務課 鈴木克久、道祖土彰彦、三角和徳、北尾真梨子
配 布 資 料		<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和2年度第1回川島町男女共同参画推進委員会 次第 ・ 資料1 川島町男女共同参画推進委員会委員名簿 ・ 資料2 川島町男女共同参画推進計画 進捗状況について (平成28年度～令和元年度) ・ 資料3 第2次川島町男女共同参画推進計画の策定に伴う住民意識調査実施要領（案） ・ 川島町男女共同参画に関する意識・実態調査 調査票（案） ・ 資料4 第2次川島町男女共同参画推進計画 策定スケジュール ・ 川島町男女共同参画推進計画（中間見直し版）

審議会等の内容・概要

1 開 会

2 委嘱状の交付

3 町長あいさつ 飯島町長

4 委員紹介（自己紹介）

5 事務局紹介（自己紹介）

6 委員長及び副委員長選出

委員の互選により、大野清子委員が委員長に選出され、加藤法子委員が副委員長に選出された。

7 委員長あいさつ 大野委員長

8 諮 問

飯島町長より、大野委員長あてに諮問書を渡す。

9 議 事

(1) 会議の公開について

個人情報を含む内容の審議ではないことから公開と決定した。

(2) 会議録の記録方法及び会議録署名委員の指名について

会議録は発言者の発言内容ごとの要点記録とすることとし、会議録指名委員は委員長の指名により、五十嵐委員及び小高委員に決定した。

(3) 協議事項

・川島町男女共同参画推進計画について

事務局から、川島町男女共同参画推進計画（中間見直し版）により、計画の概要について説明した後、資料2により、平成28年度から令和元年度までの計画の進捗状況について説明する。また、今年度の実施事業として、第2次川島町男女共同参画推進計画を策定することを説明する。

委員：2ページ、ノー残業デーの徹底について、民間企業では時間になるとパソコンの電源を切るといった手法も聞くので、それくらい徹底した方がいいのではないか。また、男性の育児休業について、必ず何日は取得すると決めてしまえば取得しやすいのではないか。

委員：3ページ、各中学校で行った男女共同参画とデートDVの授業において使用し

た県の資料とは、どんな資料か。

事務局：担当課に確認する。

委員：3ページ、男性向けの料理教室の参加者は何人だったか。

事務局：担当課に確認する。

委員：4ページ、ハラスメント研修会の対象と参加者数は。

事務局：令和元年度に、職員向けに開催したものであり、91人の参加があった。

委員：5ページ、区長に限らず、地区で選出する委員について、女性の割合を決めてしまうのはどうか。

事務局：委員選出の際に、女性選出を呼び掛けていきたい。

委員：以前、公民館委員を引き受けたことがあるが、女性は自分1人だけであった。女性に委員等を勧めても、男性任せになってしまい引き受ける人は少ない。このような女性の意識が変わることも必要だと思う。

委員：5ページ、災害の際に避難所では、女性への配慮が足りておらず、女性が困っていると聞く。避難所運営等を検討する際にも女性の視点が必要だと思うので、検討メンバーに女性を入れてほしい。

委員：6ページ、町職員の管理職に占める女性の割合は。

事務局：町の管理職は、課長級及び主幹級であり、14.3%である。

委員：関係機関に女性の登用を呼び掛けるのであれば、まず町が積極的に女性の登用を進めるべきだと思う。

委員：6ページ、以前は、県が作成した相談窓口のカードがトイレに置かれていた。以前の会議で話をして実現した。手に取りやすい場所に配架されていると手に取りやすい。

委員：7ページ、こども110番の家の方と学校の児童は顔合わせをしているのか。以前は、110番の家を訪問するスタンプラリーや、110番の家の方に感謝を伝えるような機会があった。

委員：今年度はできていないが、中山地区では、年に1回、一緒に下校する機会や、児童が育てた花をプレゼントする機会がある。

委員：伊草地区でも、一緒に下校する機会はある。ただし、どこの家の人かまでは分からない状態である。

委員：7ページ、川島町のDV相談、虐待通報の件数は。

事務局：DV相談は、昨年度3件であった。虐待通報は、担当課に確認する。

委員：8ページ、地域のレクリエーション活動等を行う場合において、ジェンダーの配慮がなされていないことがあった。スポーツ推進委員や体操のサポーター等に、ジェンダーの視点の研修等を行っているか。

事務局：体操サポーターの研修は行っているが、ジェンダーや男女共同参画の研修は行っていない。

・ 男女共同参画に関する住民意識・実態調査について

事務局から、資料3により、住民意識・実態調査の概要を説明し、調査票により前回調査から変更があった点について説明する。

委員：アンケートの対象者は、年齢の幅等のバランスはどうなっているのか。

事務局：年代ごとに、対象者数を同数とする予定である。その他、地区、性別などは、人口比に応じて対象者を選定する。前回と同じやり方でやりたい。

委員：3ページ、問3に「男性は仕事、女性は家庭」と「男は仕事、女は仕事」という表記があるが統一した方がいい。

委員：4ページ、問4で「介護（介護の必要な親の世話、病人の介護など）」という選択肢があるが、親の介護と病人の介護は別の人が行う場合もあり、その場合に回答に迷ってしまうと思う。

委員：5ページ、問7について、配偶者・パートナーがいない場合や、子育てをしていない場合もありうるので、設問にこういった方にお聞きしますというような注意書きを加えてはどうか。

委員：9ページ、問12の「職場で結婚・出産退職の慣行がある」という選択肢があるが、この問はどのようなことが重要かと聞いているので、「～慣行がなくなる」という趣旨の選択肢でないとおかしいのではないか。

委員：11ページ、問16-1で「審議会や委員会に女性委員が少ない」という選択肢があるが、町民は審議会や委員会の委員が誰なのか知らないのではないか。

事務局：審議会や委員会の周知については、町の課題である。前回の調査でも、この選択肢を選んだのは5%程度であった。この設問では残させていただき、他の選択肢を含めて、どういった意識なのかを確認したい。

委員：周知することで、私もやってみたいという人も出てくるかもしれない。

委員：13ページ、問20は、された方、した方、両方について聞くことは、した方の原因等を確認できるので、よいと思う。

委員：問20は、暴力をされたことがある、したことがある場合を聞いているが、集計する際には「どちらもある」を含めないと被害者、加害者の割合が明確にならない。された場合、した場合で問を分けた方がよい。

また、DVを受けている人は、自分がされているのはDVではないと考えている人もいる。前回の調査票に「1、2度あった」という選択肢があったが、DVを受けている方が答えやすいように、今回もそのような選択肢にしていきたい。

委員：問20、「見たくないのに、ポルノビデオやポルノ雑誌を見せる」について、若い世代は「ポルノ」という言葉の認識が変わってきているので、「AV」という表記を追加してほしい。

委員：14ページ、問20-2の選択肢で、「相談担当者」とあるが、「相談窓口担当者」としてほしい。

また、「被害を受けたことを忘れたかったから」を「被害を受けたことを思い出したくないから」としてほしい。

選択肢に、「世間体が悪いから」を入れてほしい。

委員：15ページ、問21に「特にない」は、選択肢の選択ができない。

委員：問21で、「プライバシーに関することや性的な内容の手紙や電話を受けた」に「メール、LINE」を加えてほしい。

委員：前回は職場、学校、地域の場所を回答する設問であった。今回も、場所を聞く設問として方がいいのではないか。

委員：アンケートの最後に自由意見欄があるといいのではないか。

・その他

〈住民意識調査について〉

事務局：先ほどご意見をいただいた住民意識調査票について、会議後に気付いた点等があれば事務局に8月26日（水）までご連絡いただきたい。

事務局：ご意見をいただいた後、住民意識調査の内容については、委員長と協議させていただき、最終決定とさせていただきたいがよろしいか。

委員：特に意見なし。

事務局：では、了承いただいたということで、大野委員長に確認し、最終決定させていただきます。最終決定した調査票は、調査実施前に委員に送付する。


〈マイナンバーの提供について〉

事務局：委員報酬支払の関係で、マイナンバーの提供をお願いしたい。

〈次回の会議日程について〉

次回の会議日程：11月16日（月）午後1時30分から

10 閉 会 加藤副委員長

署 名	五十嵐 美希 
	小高 絵都子 